

History

Hope Collegeとの歩み

1964

「日米教授学生 交流計画」始動

若林龍夫学長とヴァンワイク教授が
ミッションボードを訪問

1980

短期留学 受入開始

5月に Hope 学生 11 名
が引率教員と「日米経
済社会問題共同セミナー」に参加



1989



Hope 名物の「The Pull」(綱引き)

長期交換留学開始

1976年より奨学生留学制度を設けていたが、
長期留学制度を新設(現在は毎年2名)

2007

国際経営学科国際研修 プログラム 開始

ビジネス英語や経営学
等を Hope College で
学ぶプログラムを実施



1965



短期留学派遣開始

短期留学生 23 名が引率教職員と
Hope College での夏季セミナーに参加

1994

教授交換開始

秋学期に両校教員各 1 名が客員教授や
招聘教授として研究および学生を指導

2013

小諸市から中学生の派遣開始

本学卒業生、島崎藤村ゆかりの地である小諸市との
協働連携が縁となり、小諸市の中学生が Hope
College での夏季語学研修に参加



職員海外 実務研修

夏の約 1ヶ月間、本
学職員数名が Hope
College で語学と実
務研修



2015 50th Anniv.

Column

明治時代にも 日本人留學生が!

1879(明治12)年に Hope College
を卒業した大儀見元一郎は、帰国
後、教師の傍ら、明治学院教員と
して聖經地理学や聖經考古学、教
会政治を担当。Hope College で
は現在、国際交流で活躍した教職
員に大儀見の名を冠した賞を授与
している。同年卒業の木村熊二は
高輪教会牧師として島崎藤村に洗
礼を授け、小諸義塾を開校した。



特集

世界との初めての架け橋 Hope College 交流 50 周年

海外留学がまだ珍しかった1960年代、国際人の資質を備えた学生の育成を図りたいという
熱い願いからホープカレッジとの交流は始まりました。

明治学院で学んだホープカレッジ生は約400名、そしてホープカレッジで学んだ
短期・長期留学生は886名に達します。多くの人に支えられた歴史を振り返ります。

ホープカレッジとの国際交流はさら
なる進化を続けています。

ミシガン湖畔ホランドに位置する
ホープカレッジの創立は一八六六年。
プロテスタント系リベラルアーツの
大学です。本学でも大正期からホー
プ卒業の宣教師が多く活躍するなど、
ゆかりのある大学でした。

一九六四年、当時の若林龍夫学長
が、ホープ卒業生のゴードン・ヴァ
ンワイク文学部教授とともに「日米
教授学生交流計画」実現を目指し、
アメリカのミッションボードを訪問。
国際交流に実績を持つ、ホープカレ
ッジのポール・フリード教授の協力
の下、一九六五年より学生を夏季セ
ミナーに派遣することとなりました。

これがホープカレッジとの協定の
始まりです。講義やホームステイ、
シカゴツアー等、アメリカを学ぶプ
ログラムを展開しています。一九八
〇年には、ホープカレッジからも短
期留学生が来学し、念願の交換留学
が実現。長期交換留学も始まり、毎
年、両校教授が相手校で行う講義も、
学生への大きな刺激となっています。

さらに国際経営学科「国際研修プ
ログラム」や、本学と地域連携協定
を結ぶ小諸市の中学生の派遣研修な
ど交流は広がりを見せています。

五〇年前の願いは、多くの学生を
国際人としての成長に導きました。

神に導かれた パートナーシップ

岡 伸一 (社会学部教授)



50周年おめでとうございます。これまで両校で交流に関わってこられたすべての人たちの真摯な行動と気持ちが結実したものです。ホープカレッジと明治学院は、強い信頼関係の上に立つ最良のパートナーだと思います。多くの因縁を知るにつけ、神の御意思が働いていることを感じます。21世紀も輝かしい歴史を共に刻んで行きましょう。



2010年交換教授。社会学部教授のクリスマスパーティーに参加

短期留学に 参加して

林 樹理 (法律3年)



昨年の夏、短期留学しました。現地の学生と共に授業を受け、週末はパーティーやスポーツ観戦に参加しました。学生も教授も温かくアットホームな雰囲気です。キリスト教徒が多く、日曜日には多くの学生がチャペルに集うなど文化の違いを肌で感じました。交流50周年という節目に留学できたことを嬉しく思います。



Hope Collegeを象徴するAnchor像を仲間と共に囲んで

Hope College × 明治学院大学

多くの人が Hope College と
明治学院大学の交流を
実際に体験してきました。

学生の 人生を変えた 留学プログラム

Andy Nakajima (Hope College
Associate Professor of Japanese)



両校の50周年に際し、心よりお祝い申し上げます。現在まで約400名のホープ生が貴学にお世話になって参りましたが、どの学生も一様に「明治学院のプログラムは自分の人生と将来を変えた。ホープの最も誇るべきプログラムだ」と感述しております。両校がさらに心近い姉妹校として益々発展しますようお祈り申し上げます。



Hope College生からも日本人留学生からも慕われるAndy先生

さまざまな立場から関わりました

北野順子 (大学院事務室課長)



交流締結に尽力したゴードン・ヴァンイク先生のゼミ生だった私は、短期留学生(1976年)、短期留学生の引率者(1985年)、国際交流センター職員(2005年)として合計3回ホープカレッジを訪問しました。いつも変わらぬ、温かく穏やかな雰囲気のカンパス。訪れた海外の地で一番心に残る場所となりました。



1976年の短期留学当時。浴衣で日本文化を披露しました

国際研修プログラムでの学び

押田 海 (国際経営2年)



約10日間、アメリカの歴史や、経済学での値段交渉ゲーム、お菓子作りによる会計やマネジメントの勉強など、日本では経験できないことを英語で学びました。ミシガン湖やショッピングモールで遊び、参加者やホープ生とも仲良くなりました。現地の子どもとのかけっこもよい思い出です。英語力をつけてまた留学したいです。



お世話になったバディ学生と。プログラムでは地元企業やシカゴの先物取引所見学も。



1977年、本学創立100年(当時)を記念し、Hope Collegeより贈られたステンドグラス。国際センター(白金)入口に飾られています。



上 / 交流開始直後の1968年、Hope Collegeに桜を植樹。
左 / 現在の桜。毎年花を咲かせ、学生にも親しまれています。

ホープカレッジへの 感謝を込めて

国際交流担当副学長 吉井 淳

アメリカミシガン州にあるホープカレッジはわが明治学院大学が初めて交換留学協定を締結した海外の大学で、現在では短期・長期の留学だけでなく教員の相互派遣、職員の研修も行われています。また、1870年頃ホープに留学した木村熊二を通して島崎藤村縁の小諸市との関係も深まっています。

人と人のかかわりが組織の連携を深め、それがまた人の輪を広げ、大きな力となっていく。大学間連携の理想を見ているような気がします。社会がグローバル化する中、ホープカレッジとの連携は様々な形で今後も発展していくことでしょう。

交流50周年に寄せて

国際交流のバトンを引き継ぐ、現在の副学長を中心とする皆さんからの祝福のメッセージです。

Sincere Gratitude to Meiji Gakuin

President of Hope College John C. Knapp
Provost Richard Ray
Associate Provost Alfredo Gonzales
Director of International Education Amy Otis-De Grau

The relationship between Meiji Gakuin University and Hope College is a special one. This year we celebrate fifty years of student and faculty exchanges.

As we begin a year of celebration, we write to express sincere and deep gratitude to our colleagues at Meiji Gakuin for all that they have done to support, strengthen and advance the success of this important relationship between our two institutions. Imagine how many have worked at the university to advance international education for the past fifty years. It is because of many people that this year we pause to acknowledge this important work.

It is therefore an honor to express to the President, faculty, staff, students and parents—to all who have given excellent leadership and support to international exchanges, our sincere appreciation for all that has been done, for so long, to ensure that this relationship not only survives but thrives in the coming years.



明治学院大学に短期留学中のHope College生。日本の生け花を体験。

